

大竹野トンネル貫通式

早期供用目指し祝う

鹿屋土木

県鹿屋土木事務所が主線で整備中の大竹野トンネル貫通式が8日、南大隅町大竹野の現地で行われた。



鏡開きで貫通を祝う関係者
＝南大隅町の現地＝



同トンネルは総延長450mで15年から整備を進めてきた。施工は1工区が丸福建設・吉留建設産業・百次建設、2工区が丸福建設・山下建設・山佐産業のそれぞれ特約で、発注者を代表して県鹿屋土木事務所の上小鶴博所長が祝辞を述べた。同所長は「トンネルの貫通を祝う。早期供用を目指して、安全に整備を進めていく。関係者による連携で、貫通後の安全確保に努める」と述べた。

式典後、上小鶴所長は「この道路が地域の産業、流通と住民の安全に寄与するものとなる。力強い肝属地区に役立つよう1日も早い完成を望む」と話した。

県ジオファイバー協会総会

発注機関への陳情柱に



会員一丸で普及活動と挨拶する橋元会長。鹿屋市のグリーンホテル錦生館で。

（橋元力会長）は8日、鹿屋市のグリーンホテル錦生館で18年度通常総会を開き、発注機関への陳情活動や県内コンサルへのPR活動などの新年度事業計画を決めた。総会では、初めに橋元会長が「昨年度はジオファイバーの技術立案など、コンサルへの成果が上がった。また、県としてはテクノロジー、エコロジー、リサイクルが備わっている工法は採用など検討していく意向を聞いた。ジオファイバーは、ペットボトルのリサイクル、シラスと砂混ぜたコンクリートなど、環境に優しい工法として、発注機関への陳情活動の強化を図りたい」と述べた。

補強土工、現場での立木のチップ材を使う工法で前述のキーワードを兼ね備えている。今後も会員一丸で普及活動に努めていきましよう」と挨拶した。

続いて、橋元会長を議長に議事に入り、17年度事業・収支決算報告・収支予算案を審議し、すべて原案通り可決承認した。

同日は、加治木町の現地に集まった参加者25人を前に岩下社長が「最近、児童の痛ましい事件が続く。きょう作業する場所も通学路ですが、雑草が生い茂っています。危険予防のためにもよろしく作業に精を出して参加者」加治木町の現地で行われた。



山藤建設・錦幸緑化建設・井上建設 初の合同奉仕作業

（山藤建設（岩下吉則社長）、錦幸緑化建設（愛下社長）、井上建設（愛下一社長）、井上建設（井上勝巳社長）は8日、加治木町の網掛川土手の草刈り等の奉仕作業を3社合同で実施し、関係者に喜ばれた。なお、合同奉仕作業はきょう9日も実施する。

作業は、加治木バイパスから下流へ約1kmを対象に除草作業を中心として実施。参加者は各社持参した草刈り機やフォークなどを活用し、大人の腰ほどに伸びた雑草を刈り取り、ダンブに回収した。

県建設協会指宿支部安全管理研修会

安全意識の高揚を図る

（福永昭一支部長）は8日、指宿市の指宿建設業会館で18年度安全管理研修会を開き、安全意識の高揚を図る。



一人ひとりが危機管理意識を——と語る
福永支部長＝指宿市の指宿建設業会館＝

とを言い、労働災害・交通災害の撲滅に向けた安全意識の高揚を図った。冒頭、福永支部長が「交通・労働災害に対する意識が欠落しては、地域住民からの建設業への信用を失墜することになりかねない。そのためには、研修会で学んだことを各自がしっかりと認識し、各々にとりてきようの研修会が意義あるものとしてほしい」と挨拶した。

続いて、県指宿土木事務所の御供田勉技術主幹兼係長が土木工事に関する安全教育と題して、安全施工サイクル運動の順守、施工体制台帳の維持、

必要などについて説明。また、鹿児島労働基準監督署の福元英幸安全衛生課長、神村健一郎安全衛生専門官らが安全衛生週間について、17年度の県内各地区や業種ごとの労働災害発生状況を報告し、「安全は、自らの手によって守るという意識をしっかりと持つてほしい」と訴えた。また、南記念クリニックの南田美子運動指導士が「健康の土台づくりも意識から、身体を作るお手軽体操」と題して講演した。

また、午後からは指宿警察署の有木芳輝交通課長と指宿消防署の堀孝行救急救命士が的確な対応や処置の有効性を訴えた。また、（株）西園組の富松正美氏、（株）西園組の馬清重氏による体験発表では、全員が真剣な表情で、



各種活動にさまざまな質問が寄せられた。研修会では、指宿市の指宿建設業会館で18年度安全管理研修会を開き、安全意識の高揚を図る。

ボランティア活動を評価

センターを開設。共同購買事業や各種キャンペーンなど幅広い事業を展開している。上部組織の全日本電気工業組合（全電連）の副会長も務める小澤理恵氏は、「優れた指導力のもと、今後も地域に根ざした活動に努めたい」とエールを送った。

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ